

なぜ

東京大学 には

女性が少ない

のか？

東京大学の男女比

8 : 2

男性学生 女性学生

9 : 1

男性教授 女性教授

東京大学は、ずっと解決されていない、この「問い」から
学内のジェンダーバランスを変えていきます。



#WeChange
UTokyo

※2枚目以降は一部センシティブな内容を含みます。

特に女性差別を受けたことがある方など、フラッシュバックを
引き起こす恐れがありますので閲覧にご注意ください。

女性がいっぱい華やか
 子どもの送り迎え
 女性の仕事
 仕事するのは賛成だけど
 家のこともやって
 子どもが小さいうち
 母親が見なきゃ
 旦那さん優しいから
 遅くまで働かせて
 女性らしく控えめに発言を
 家事も全部こなす
 キャリアアウマン
 女性ならではの感性を
 発揮していただきたい
 何かあった場合は
 お母さまに連絡しますね
 お金に困らないなら
 家にいればいいじゃん



女性の進路・キャリアを妨げる
#言葉の逆風
 あなたも加担していませんか？

※東大の女性学生・研究者が実際にかけられたことがある言葉です。
 (学内アンケート調査より / 学生・研究者687人)



男性社会だけど大丈夫？

女性は大変に
気配りも

研究するから女性もは
諦めたほうがいい

結婚した後も
子育ても

女性への研究熱心だね

女性は大変に
女性ならではの視点で研究を

女性が無理に
働かなくて

正規雇用で



女性の進路・キャリアを妨げる

#言葉の逆風

あなたも加担していませんか？

※ 東大の女性学生・研究者が実際にかけられたことがある言葉です。
(学内アンケート調査より / 学生・研究者687人)



男の子は...

玉の輿に乗るのが
女性に幸せ

女子が大学院に行く意味ある?

数学できる女は女じゃない。
中身男

地元で
いい大学で
いいんじゃない?

女子だから
浪人しない

女子なのに東大?

東大トップより
おバカでかわいい子がいい

女子は研究に向いてない

就活失敗しても
男の人に頼るばいいよ

女の学歴に
価値はなし



#WeChange
UTokyo

女性の進路・キャリアを妨げる

#言葉の逆風

あなたも加担していませんか?

※東大の女性学生・研究者が実際にかけられたことがある言葉です。
(学内アンケート調査より / 学生・研究者687人)

何気ない一言も、 浴び続ければ逆風だ。

「女の子なんだから、そんなに頑張らなくても」
「子育てしながら研究なんて、大変でしょ？」
想像してほしい。人生ずっと、こんな言葉を浴び
続けてきたらと。何気ない言葉であっても、もはや
逆風だ。このような言葉は、前に進もうとする女性
の意欲を削ぎ、未来の選択を変えてしまうこと
だってある。東京大学には、女性が学生で2割、
教授で1割しかいないこととも、無関係ではない
はずだ。この国で生きる女性には、いまだ逆風が
吹いている。止めるには、一人ひとりの意識の
変化が必要だ。東京大学は、無意識の差別に
気づくきっかけをつくり、ジェンダーバイアスの
是正に取り組んでいきます。

女性の進路・キャリアを妨げる

#言葉の逆風

あなたも加担していませんか？



#WeChange
UTokyo

#WeChange UTokyo

女性リーダー育成に向けた取り組み UTokyo男女+協働改革 #WeChange

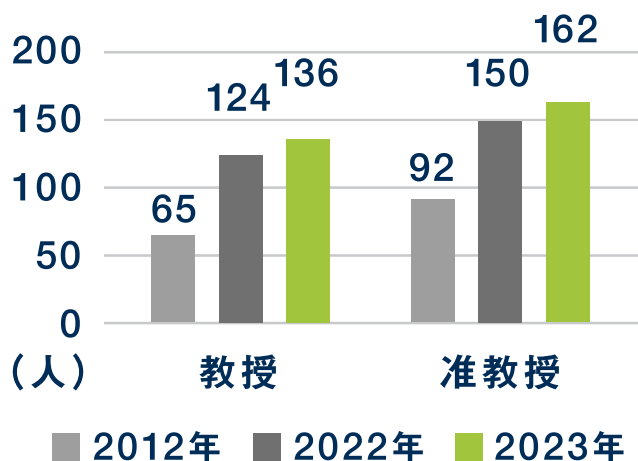
女性教授・准教授の増加率を2倍に。
2027年度までに約300人の女性を新規雇用。

東京大学(総長:藤井輝夫)は、女性リーダー育成に向けた施策「UTokyo男女+協働改革 #WeChange」を実施しています。教職員や学生を含む大学構成員全員の意識改革に取り組むとともに、女性比率増加率を過去10年の2倍とし、2022年～2027年度に着任する教授・准教授1200名のうち、約300名を女性とすることを目指します。また、学生※の比率も25%から30%への引き上げを目指しています。

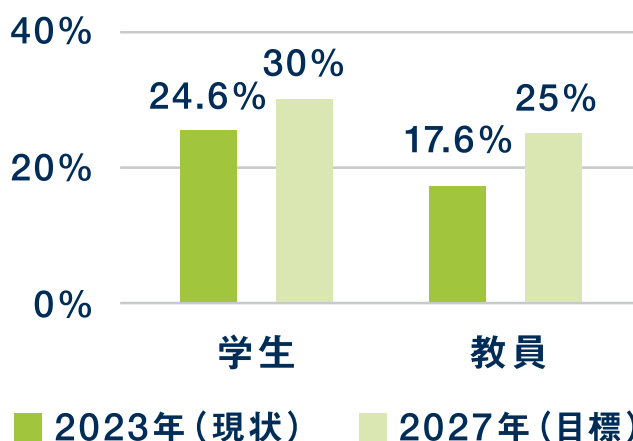
東京大学の現状と目標

女性教授・准教授の新規着任を約300名に、女性教員比率を25%に。

女性教授数・准教授数の変化
2012年－2023年



学生と教員の女性比率
2023年(現状)と2027年(目標)



※学生：学部学生 + 大学院学生

2027年に向けて、まずは意識改革を。

裏面に記載のある今回のプロジェクト「#言葉の逆風」は「UTokyo男女+協働改革 #WeChange」の活動の一環です。東大構成員の意識を改革するために、この不自然な状況を生み出している理由の一つであるジェンダーバイアスについて考える機会を提供します。

Target III

女性教員の加速的増加

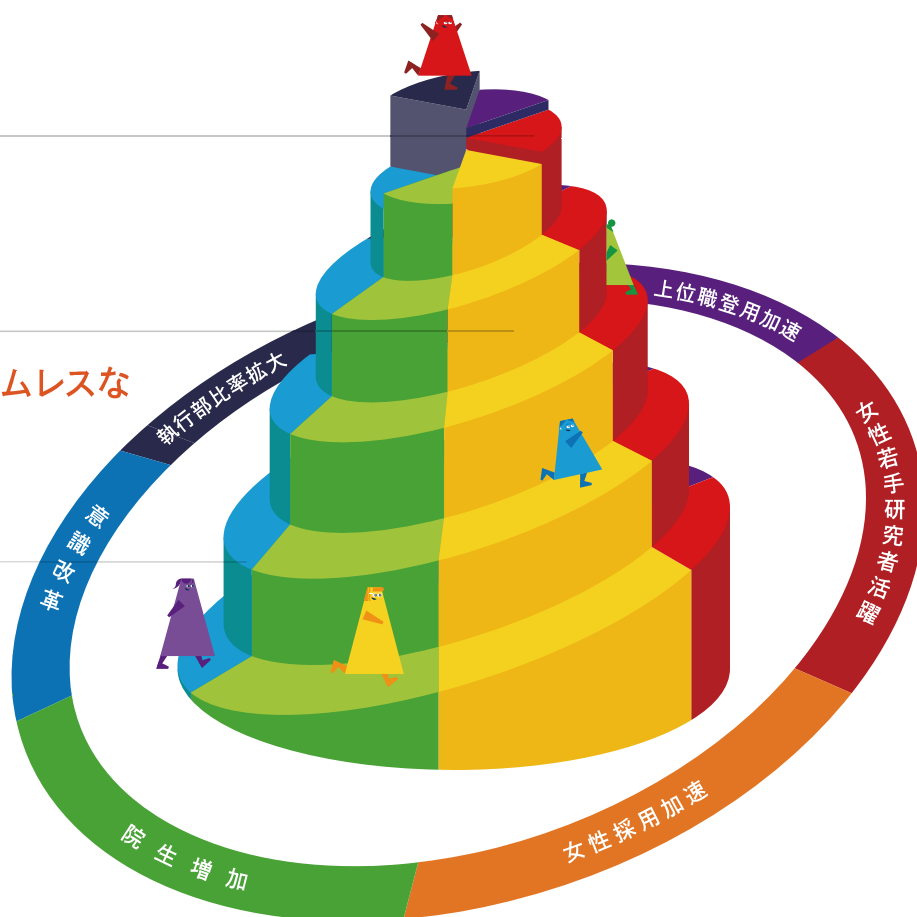
Target II

院生からシニアまでのシームレスな
女性研究者キャリアアップ

Target I

男女+協働改革
への基礎整備

— マジョリティ側の意識改革 —



女性の進路・キャリアを妨害する 「言葉の逆風」って？

女性差別に関する意識は変わりつつあるように見えて、日本には、ジェンダーバイアスに基づく性別役割分担意識がいまだに残っています。教職員及び学生を含め、その大半が男性で構成されている東京大学。この現状は、このようなジェンダーバイアスと無関係ではありません。「女の子なんだから、地元の大学でいいでしょ」といった何気ない発言や、「男社会だけど大丈夫？」など、ときには思いやりに聞こえるような言葉にもジェンダーバイアスは潜んでいます。こうした言葉は、幼少期から、進路選択、キャリアの選択など女性の人生のあらゆる局面に影響を与えかねません。東京大学は、女性の意欲を削ぎ、未来の可能性にまで影響を与える恐れのあるこうした言葉を「#言葉の逆風」と名づけ可視化することで、ジェンダーバイアスの是正に取り組んでいきます。

偏りある現状に気づくために。 大学構成員みんなで考えるために。

「なぜ東京大学には女性が少ないのか？」
この問題は、東京大学を構成する全員に関係のある問題です。まずは大学構成員にこの偏った現状に気づいてもらえるように、そして、この問題について考えていただくために、問いを投げかけるポスターや「言葉の逆風」について考えてもらうポスターを学内に掲出しました。



問いポスター



「#言葉の逆風」ポスター

ポスターには、東大の学生・研究者が 実際にかけられたことがある言葉が。

女性の進路・キャリアを妨害する「#言葉の逆風」ポスターに配置された言葉は、アンケートにご協力いただいた東大の学生・研究者（総勢687名）が**実際に受けたことのある言葉をもとに構成しています**。また、「東京大学学部学生の女性が少ない理由は何だと思いませんか。」という設問に対しては、「学術界の女性研究者や学内の女性教員の少なさ」や「女性に学歴を求めない社会」、「東大女性や東大卒女性に対する偏見」にまつわる記述が多くみられました。全構成員の意識改革実現のために、構成員一人ひとりがいびつな環境に目を向け、#WeChangeの取り組みの重要性を認識しましょう。そして、東京大学を「世界の誰もが来たくなる大学」にしていきましょう。

「東京大学学部学生の女性が少ない理由は何だと思いませんか。」 アンケート設問に対する回答（一部抜粋）



学部生 女性

現状の女子学生が少ないために、男性社会のようにになっている場所に入学することにためらいを覚える。クラスに女子が数人しかおらず、同性の交友関係を広げることが難しいという情報をSNS上などで見かける。男性の高学歴は恋愛に有利に働くのに、女性の高学歴は不利であるという言説をメディア上で見かける。



院生/研究者 女性

日本社会が依然として女性の教育を男性に比べて軽視していること。東京大学内にマジョリティの男性に馴染みやすいカルチャーが浸透していること。女性の連帯の機会が少ないこと。

「#言葉の逆風」プロジェクトにあたって、みなさまへのエール



林 香里
東京大学 理事・副学長

東京大学では、誰もが来たくなる大学を目指し、大学の全構成員の意識改革に取り組んでおります。キャンパスでは、誰もが自身の人生を豊かにする貴重な時間を過ごしています。しかし、この貴重な時間や成長の場は、「言葉の逆風」により簡単に脅かされます。すでに多くの構成員は、傷ついた女性やマイノリティたちの存在に気づき、行動し、環境を変えようとしています。みなさんもぜひごいっしょに、この問題を考えませんか。

逆風を浴び続けてきているみなさまへ

あなたが経験している「言葉の逆風」は、決して受け入れられるべきものではありません。投げかけられたあなたに落ち度はなく、構成員全員の問題です。あなたは一人ではありません。私を含め「言葉の逆風」を受けてきた仲間は大勢います。ともに支え合い、共感し、前へ進んでまいりましょう。

逆風に気づき、行動されているみなさまへ

こうした問題に気づき、すでにさまざまな形で応援してくださっている皆さま、ありがとうございます。キャンパスには、いまだにいろいろなところでジェンダー平等を阻む逆風が吹いています。止まない逆風に対して、共に分厚い「防風林」をつくってまいりましょう。そして、共に支援し行動する「アライ」として、ごいっしょにジェンダー平等への追い風を起こしてまいりましょう。

キャンパス構成員のみなさまへ

行動を起こすことは勇気がいることです。かつて、私もその一人でした。けれども、あなたの理解、そして支援がキャンパスを変えます。ぜひ、身の回りの小さな環境改善から始めませんか。あなたの一步が声を出せないマイノリティを力づけ、キャンパス中に連鎖反応を生み出すことと確信します。

全構成員がともに逆風に立ち向かうために

環境を変えるには、1人ひとりの勇気が必要です。#WeChange「#言葉の逆風」プロジェクトは、みなさまの声や行動がジェンダー平等への追い風となるよう、大学全体の意識変容につながる活動を展開してまいります。

さあ、今が変わるとき



#WeChange UTokyo

#WeChange
ウェブサイト



日本語

#WeChange
Website



English



IncluDE

多様性包摂共創センター
ジェンダー・エクイティ推進オフィス

※表紙の問いからご覧ください